

活動名	13万人が動けば、子供の貧困・虐待をなくせる！を 実証する(フェーズⅠ)	団体名称	特定非営利活動法人Mama's Café
		活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
		活動目的	④その他
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
<p>子どもの貧困・虐待の予防策として、子育てにつまずく「子育て困窮家庭」をファミサポの利用料負担で支援します。その実績と事例を集めて「ファミサポの利用料軽減」の政策提言をします。</p> <p>*ファミリーサポートセンター事業とは* 国(厚生労働省)の主管する事業で、地域の住民同士が子育てを有償で援助する活動です。「子育ての援助を受けたい人(依頼会員)」と「子育てのお手伝いをしたい人(援助会員)」をセンターがマッチングします。769市町村で実施し、援助会員(子育てのお手伝いをしたい会員)は13万人います(平成26年度現在)</p>		<p>2017.9月中旬 ~2018.7月まで</p> <p>・現場スタッフ会議 ・子育てネットワーク会議開催</p> <p>・子育て困窮家庭への支援</p> <p>2018.3月 ・子育てネットワーク会議開催</p> <p>2018.7月 ・事例の整理・分析</p> <p>2018.8月 ・チェックリスト完成 ・子育てネットワーク会議開催</p>	<p>【現場スタッフ会議】</p> <p>①専門家を交え、仮のチェックリストを作成する。 ②現場スタッフ&有識者 名古屋学院大学 越智 祐子氏</p> <p>【子育てネットワーク会議開催】</p> <p>①支援者同士の情報交換 ②「ファミサポ利用料負担」についての説明 ③具体的案件の検討</p> <p>【子育て困窮家庭への支援】</p> <p>仮のチェックリストに該当する、ネットワークから紹介のあった家庭へのサポートを開始する</p> <p>【子育てネットワーク会議開催】</p> <p>①支援活動の中間報告 ②活動の中間整理・今後の方向性の確認</p> <p>【事例の整理・分析】</p> <p>チェックリストまとめるために、事例を分析する。(現場スタッフ・有識者)</p> <p>【チェックリスト完成】</p> <p>【子育てネットワーク会議開催】</p> <p>①行政をはじめ、関係団体に1年間の活動実績の報告 ②完成したチェックリストの公表 ③2年目以降への活動予定を報告</p>
■活動目標	子どもの貧困・虐待の予防策として、子育てにつまずく「子育て困窮家庭」をファミサポの利用料負担で支援します。その実績と事例を集めて「ファミサポの利用料軽減」の政策提言をします。		
■長期成果	この町(多治見市)で、チャレンジするこのプロジェクトが成功するならば、必ず全国のモデルになります。何故なら、ファミリー・サポート・センターは全国にあるからです。「ファミサポ利用料負担」が制度化されれば、13万人の「子育て支援者の有効活用」になります。「子育て困窮家庭」の支援は、その川下にある「子供の貧困」「虐待」「DV」の予防策となります！		
■活動風景			
			
〈チェックリスト作成会議〉現場スタッフが意見を出し合う。		〈援助活動中〉	
		〈中間報告会〉関係機関が集まりました。	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>・平行してMama's 基金を立ち上げたので、ファミサポ利用料負担に関してマスコミ(地元新聞)などに多く取り上げてもらったため注目された。</p> <p>・関係機関との連携もスムーズにいき確実に実績を積んでいる。 相談世帯数 36世帯/登録世帯数 26世帯(訪問登録12世帯) 活動世帯数 13世帯 (ひとり親1、多胎児1、母病気3、母妊娠中1、産後3、母肢体1、多子2、若年1)</p> <p>・報酬(利用料)補助総額/164,925円(2月末)</p> <p>・補助率/世帯数 100%/5世帯(1h~2h)、50%/3世帯(1h~3h) 1回500円/月最大2,000円 1世帯(2h) 1回1,000円/月最大5,000円 3世帯(3h・兄弟) 1回100円/1世帯(1h)</p> <p>・延べ活動時間/249時間 援助している子どもの年齢 0歳7人、1歳3人、2歳2人、3歳2人 4歳2人/小学1年1人、小学2年2人、小学3年1人</p> <p>・主な援助内容 子どもの世話(ミルク・おむつ・寝かしつけ等) 子どもに遊びの経験(公園・園庭開放利用・健診事後教室参加) 沐浴介助 病院等付き添い(予防接種・乳幼児健診等) 学校までの送迎(夏のプール利用)往復</p> <p>・改善点:関係機関の職員が思うほど、当事者(親)が困り感をもっていないため、自覚していない。そのため、支援にはいる際は、その温度差があることを十分理解した上で対応しなければいけない。</p>		<p>①行政・NPO・地域とネットワークを組み、支援対象の情報の共有を行います。 多治見市役所(子ども支援課)・保健センター・他NPO・生活困窮者自立支援センター・児童館・学童・子ども相談センター</p> <p>②有識者のアドバイスのもと、事例の分析やチェックリストの作成を行います。 現場アドバイザーや保健師・家庭相談委員とともに、名古屋学院大学 越 祐子氏の指導のもと作成します。</p> <p>③ファミサポセンターのマッチングにより、ファミサポの援助会員(子育てを手伝いたいという地域住民)が、該当家庭に入り援助を行います。</p>	
〒507-0041 (住所)岐阜県多治見市太平町2-39-1 (団体名)特定非営利活動法人Mama's Café (ホームページ):http://www.mamascafe-plus.com		助成金額 355,000円	
		助成期間	
		H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。